

黄色りんご「シナノゴールド」の特性

1. 試験のねらい

本県におけるりんご栽培面積は 169haでその販売形態は、観光農園における直販、宅配が主体であり、観光客が多く訪れる10月の紅葉時期に収穫される品質の良い品種が少ない。そこで、9月下旬から10月上旬に収穫できる品質の良い「シナノゴールド」の特性を明らかにする。

2. 試験方法

「シナノゴールド」は長野県果樹試験場において、「ゴールデン・デリシャス」に「千秋」を交配して育成された中生の黄色品種で、平成11年に品種登録された。

当試験場では平成10年4月に高接ぎした。初結実は平成13年で、その後4年間、同時期に収穫される「千秋」を対照品種として生育特性及び果実特性を調査した。

2. 試験結果および考察

「シナノゴールド」は「千秋」と比較して次のような特徴がある。

- (1) 樹勢は中程度からやや弱く、樹姿は直立と開帳の中間、短果枝の着生は「千秋」よりやや多い中程度、えき花芽の着生は「千秋」と同じく中程度である(表-1)。
- (2) 開花期は「千秋」とほぼ同じ時期であり、収穫期は9月下旬～10月上旬で、「千秋」とほぼ同時期である。(表-1)。
- (3) 果実は、「千秋」より大果で、糖度は13%程度、酸度は「千秋」より強く、甘酸のバランスが優れ食味良好である(表-2、3)。
- (4) 果形は円～長円であり、果皮色は黄色でさびは少なく、みつは入らない(表-4)。
- (5) 果実は粉質化しにくい(表-4)。つる割れ果の発生は見られるが少なく、生理落果は年により若干発生する。

4. 栽培上の注意点

- (1) 早取りすると果皮が緑色で外観品質が劣り、酸味が強いいため、果実が果頂部まで黄色く着色させ、収穫する。
- (2) 黄色種であるため、着色管理が不要である。

5. 成果の要約

「シナノゴールド」は9月下旬～10月上旬に収穫される中生の黄色りんごで、糖度が高く、甘酸バランスが優れ、食味良好である。

(担当者 園芸技術部 果樹研究室 林 雅子)

表 - 1 「シナノゴールド」と「千秋」の生育特性

品種名	樹勢	樹姿	短果枝着生	えき花芽着生	開花盛 月.日	収穫 月.日		
						始	盛	終
シナノゴールド	やや弱～中	中	中	中	4.26	9.29	10.4	10.8
千秋(対照)	中	中	少	中	4.27	9.29	10.4	10.12

注)平成13～17年の平均。

表 - 2 「シナノゴールド」の果実特性

年次	果重	糖度	酸度	硬度	収量
	g	%	%	lbs	Kg/樹
平成13年	302	13.8	0.46	10.8	3.4
平成14年	291	14.0	0.35	10.4	11.8
平成15年	297	13.5	0.37	12.8	23.5
平成16年	242	14.4	0.40	8.2	29.7
平成17年	301	12.7	0.40	11.8	47.7

表 - 3 「シナノゴールド」と「千秋」との果実特性

品種名	果重	糖度	酸度	硬度
	g	%	%	lbs
シナノゴールド	287	13.7	0.40	10.8
千秋(対照)	240	13.5	0.28	9.2

注)平成13～17年の平均。

表 - 4 果実の外観品質および食味

品種名	形状	玉揃い	着色		さび		肉質	果汁	甘酸	渋み	香り	みつの多少	心かび	粉質化	生理落果
			果皮色	程度	位置	量									
シナノゴールド	円～長円	良	黄	中	梗あ	少	良	多	中	無少	少中	無	無	難	無少
千秋(対照)	円～円錐	中	鮮赤	中	がくあ	少	中	多	甘	少	少	無	少	中	無少

注)平成13～17年の平均。



写真 - 1 収穫適期の「シナノゴールド」